令和８年度　　第１学年　　授業改善推進プラン　　小平市立小平第二小学校

	課題（児童の実態、学習状況、指導の実態）	改善プラン（課題の改善プラン、具体的な手だて）
国語	・音読や音読発表に意欲的に取り組む児童が多い。 ・平仮名の形を正しく書こうとする意欲がある児童が多いが、書き順や鉛筆の持ち方が正しく定着できない児童もいる。 ・文章を書いたり、内容を読み取ったりする力に個人差がある。 ・拗音、促音、「は、を、へ」の定着に課題がある。	・毎回の文字指導の際に、なぞりや空書きを効果的に取り入れて正しい書き順を意識させたり、鉛筆の持ち方を児童同士確認する機会や個別に指導する時間を取ったりする。 ・実態に応じて個別に対応したり、スモールステップで指導を積み重ねたりしながら、書く力や読み取る力を伸ばしていく。 ・文章を書く時間を週に１度設定し、自分の考えを表現する力や正しく表記する力が定着するようにする。 ・毎日、プリントやデジタルドリルなどで繰り返し学習することで定着させていく。
算数	・「できた」喜びを感じながら、意欲的に問題に取り組む児童が多い。 ・文章の意味を正しく理解し、問題に合わせた解答をすることに課題がある。 ・たし算やひき算の意味の理解の定着や計算の習熟などに個人差がある。	・既習事項を使って問題解決ができるよう授業展開を工夫したり、実態に応じて個別に対応した課題を取り入れたりしながら一人一人の理解を深める。 ・数学的活動を多く取り入れ、ブロックや図、言葉、式をつなげながら、演算決定などを行っていく。 ・計算の習熟を図るために、朝の時間や家庭学習、デジタルドリル等で問題演習に取り組む時間を意図的に設定する。
生活	・身近なことや植物の成長などに興味をもちながら、意欲的に活動することができている。 ・いろいろな友達と関わり、楽しく活動する姿が多く見られる。 ・気付いたことを、表現する力に個人差がある。	・様々なことに気付かせたり、豊かに表現する力を伸ばしたりできるよう「探求するものとの出会い→思いや願いをもつ→活動や体験をする→感じ、考える→表現し、行う」プロセスを大切にする。 ・活動や体験を充実させ、様々な表現の場の工夫を行っていく。
音楽	・リズム打ちや歌唱に意欲的に取り組んでいる。 ・鍵盤ハーモニカの練習も意欲的に取り組んでいるが、運指やタンギングなどの技能については、個人差がある。	・いろいろな曲やリズムに触れさせることで、楽器への興味や関心を高めていく。 ・演奏するときのきまりを含め、鍵盤ハーモニカの技能を

		スモールステップで丁寧に指導をしていく。
図工	・創作活動に楽しんで取り組んでいる。 ・はさみ、のりなどの用具の使い方や表現する技能に個人差がある。 ・思いがあっても、形にしようとするとつまずいてしまったり、作品が小さくなってしまったりする児童がいる。	・様々な創作活動を計画し、指先を使うものなどを意図的に取り入れていく。 ・作品づくりを行う前に、具体的なアイディアや方法を確認したり黒板に視覚化して分かりやすく提示したりするなど、表現できるための工夫をしていく。
体育	・意欲的に運動に取り組むことができる。友達と一緒に運動することを楽しんで取り組むことができる。 ・様々な運動遊びに、すすんでチャレンジする姿が見られる一方、苦手なことに関してはなかなか挑戦できない児童もいる。	・授業中の運動量の確保に努めたり、多様な動きが経験できるように年間の指導計画を見通したりしながら、指導の工夫を行う。また休み時間に体を動かす習慣を身に付けさせる。 ・振り返りの中で、挑戦することでできるようになったことを感じたり、運動することの楽しさを意識できたりするようにしていく。
道徳	・授業を通して、ねらいとする道徳的価値についてすすんで話し合ったり実行したいという意欲を高めたりする児童が多い。 ・自分の考えをもてなかったり、表現することが難しかったりする児童がいる。	・ペアやグループでの交流活動を取り入れ、自分の思いや考えを話しやすい場の設定をしていく。 ・ロールプレイングを行い、具体的な気持ちや行動をイメージできるようにしていく。